

2019年9月5日

研究に関する情報公開文書

平成29年5月1日～平成30年1月31日の間にいわき市胃がん検診へ参加した皆様へ

研究課題名「福島県における内視鏡検診の現状と展望」について

1. 研究の対象

平成29年5月1日～平成30年1月31日にいわき市がん検診を受診した方のうち、以下の条件に当てはまる方です。

- 1) いわき市医師会会員施設で内視鏡による胃がん検診を受けた方
- 2) いわき市胃がん個別検診受診録(胃内視鏡用)を提出された方

2. 研究目的・方法・研究期間

ヘリコバクター・ピロリ感染と胃がんは密接に関係していることは既に明らかにされています。ヘリコバクター・ピロリ感染検査を胃がん検診に導入することで、検診受診率向上が諮られ、胃がんの早期発見早期治療、延いては胃がんの死亡率減少が可能であると考えています

この研究では、いわき市胃がん検診の受診者において、胃内視鏡検査を選択された方のヘリコバクター・ピロリの感染状況、胃粘膜の萎縮性変化、胃がんの有無を調査し、発見された胃癌とヘリコバクター・ピロリ感染の関連性を検討します。いわき市胃がん個別検診受診録(胃内視鏡用)からデータをいただき、解析を行います。

この調査研究は、自費で行うものであり、特定の企業・団体等からの資金や薬品の提供は受けておりません。

研究期間は2019年1月1日から2020年6月30日までです。

この研究は、日本消化器がん検診学会誌への投稿前に日本消化器がん検診学会倫理審査委員会で審査され、承認を受ける予定です。

3. 研究機関および研究責任者

<研究機関>：いわき市医師会 胃疾患対策委員
おおくぼ胃と腸・内科クリニック

<研究責任者>：大久保 義光

4. 使用する情報（データ）

いわき市胃がん個別検診受診録(胃内視鏡用)から以下のデータを収集させていただきます。

性別、年齢、ヘリコバクター・ピロリ感染状況記載欄、生検実施項目記載欄、萎縮性胃炎記載欄

氏名や住所など個人を特定できる資料は、収集の対象ではありません。

5. 研究終了後のデータの保存および廃棄

この研究に使用させていただいた臨床データを集計したものなど、この研究のために作成した（資料別添）は外部に提供しません。研究対象者のデータは個人情報情報を厳重に管理（匿名化等）した上で、できる限り長期間保存します。

なお、データを廃棄する際には、受診者個人を特定できない状態にします。

6. 個人情報の保護および研究成果の公表

収集させていただくデータについては、個人を特定できる情報（個人情報）を匿名化した上で使用させていただきます。また、この研究の成果は学術目的のために日本消化器がん検診学会の学会誌や学術集会で公表される予定ですが、その場合も、個人情報は匿名化されていますので、第三者に個人情報が明らかになることはありません。

7. 研究計画書および個人情報の開示

この研究の研究計画書やこの研究の方法に関する資料については、他の方の個人情報および知的財産権の保護に支障がない範囲内で、ご覧いただくことは可能です。ご希望の場合には、下記【問い合わせ窓口】の担当者までご連絡ください。

また、この研究のために収集させていただいた個人の情報についても、対象者がご希望される場合には、担当者より開示させていただきます。（ただし、研究対象者等の人権や権利保護の理由により開示できない場合もあります。）個人情報の開示をご希望される場合にも、下記【問い合わせ窓口】の担当者までご連絡ください。

8. 研究へのデータ使用の取り止め（不参加）

この研究にデータが使用されることについて、取り止めに希望される場合には、データ収集の終了予定である2020年6月30日までに、下記【問い合わせ窓口】の担当者までご連絡ください。なお、取り止めに希望された場合でも何ら不利益を受けることはありません。

9. 問い合わせ窓口

この研究の対象となる可能性がある方で、この研究に関するお問い合わせは、以下の担当者にお尋ねください。

【担当者】

氏名：大久保義光（おおくぼ胃と腸・内科クリニック）

電話番号：0246-21-0091（受付：平日8:30～17:15）

FAX 番号：0246-21-7676

e-mail：okubo@image.ocn.ne.jp